

Matsuda



町議会サイトは
こちらから

松田町議会だより

No.232
2023.11.1



とびだせ・バルーン! ~『RPG』~

(松田さくら保育園運動会：10月14日開催)

第4回臨時会の概要	委員会報告	9
新しい議会の構成が決まる ... 2	議案審議結果一覧	10
第3回定例会の概要・決算質疑 ... 4	一般質問	11
決算討論	住みやすい町を目指して⑤⑥	12
条例・契約・補正予算		8

職 決 ま る

令和5年
第4回臨時会
10月5日開催



令和5年9月10日に執行された町議会議員選挙後、新議員による初めての議会が、10月5日（木）に招集されました。
第4回臨時会は、正副議長の選挙、常任委員会委員及び議会運営委員会委員の選任、各種委員会委員の選出、議会選出の監査委員の同意等が行われ、新しい議会の役職が決まりました。
なお、議員の任期は、令和9年9月30日までの4年間となります。

議長就任のあいさつ

議長 平野 由里子

このたび議員の皆様から議長に「ご推挙いただき、その責任の重さに身が引き締まると思います。」

「多様性に基づく討議」が議会の存在意義であることを踏まえ、議会ICT化、ハラスメント防止など議会の課題や、駅前整備事業をはじめとする町の様々な課題について、闊達に議論する場として、松田町議会を主宰して参ります。

松田町議会初の女性議長となることを、誇りに思うと同時に、マイノリティーの視点をむしろ活かして取り組んでいく所存ですので、皆様の「理解と」支援をよろしくお願い申し上げます。

正・副議長選挙の結果

第4回臨時会は、一般選挙後の初議会であるため、議長選挙・副議長選挙が行われ、新議長に、平野由里子議員、新副議長に南雲まさ子議員が選出されました。

今回の正副議長選挙も、開かれた議会を目指し、議会全員協議会を公開し、立候補制と所信表明や質疑をして、本議会で選挙を実施しました。

議長選挙の結果

当 選	平野 由里子	10 票
	寺島 正	1 票
	無効投票	1 票

副議長選挙の結果

当 選	南雲 まさ子	11 票
	無効投票	1 票

新しい議会の役



議席番号6
古谷 星工人
当選2回



議席番号5
秋田谷 光彦
当選1回



議席番号4
中津川 定雄
当選1回



議席番号3
吉田 功
当選1回



議席番号2
武尾 哲治
当選1回



議席番号1
北村 和士
当選1回



議席番号12
寺嶋 正
当選7回



議席番号11
飯田 一
当選5回



議席番号10
南雲 まさ子
当選3回



議席番号9
井上 栄一
当選3回



議席番号8
田代 実
当選3回



議席番号7
平野 由里子
当選3回

議席番号は、当選回数（在職期間の長短及び年齢順）によって、議長が指定します。

◎は、委員長
○は、副委員長

議会広報広聴 常任委員会

◎◎
吉田 功
武尾 哲治
平野 由里子
秋田谷 光彦
中津川 定雄
北村 和士

産業厚生 常任委員会

◎◎
古谷 星工人
田代 実
井上 栄一
平野 由里子
秋田谷 光彦
中津川 定雄

総務文教 常任委員会

◎◎
南雲 まさ子
吉田 功
寺嶋 正
飯田 一
武尾 哲治
北村 和士

その他の役職

【議会運営委員会】

◎◎ 飯田 一
○ 田代 実
寺嶋 正

南雲 まさ子
井上 栄一
古谷 星工人

【定柄上衛生組合議員】

平野 由里子
武尾 哲治

【定柄東部清掃組合議員】

平野 由里子
寺嶋 正
古谷 星工人

【表彰審査会】

平野 由里子

【都市計画審議会】

平野 由里子
田代 実

【民生委員推薦会】

平野 由里子

【社会福祉協議会理事】

平野 由里子
吉田 功

【社会福祉協議会評議員】

北村 和士

【足柄上地区 広域行政協議会】

平野 由里子
南雲 まさ子

【神奈川県西部 広域消防運営協議会】

平野 由里子
中津川 定雄

【議会選出の監査委員】

井上 栄一

【新東名高速道路事業 対策委員会委員】

中津川 定雄
古谷 星工人

【地域福祉計画 策定委員会委員】

秋田谷 光彦

【介護保険事業計画等 策定委員会委員】

南雲 まさ子

9 会計の決算を認定

歳入 87億7892万円 歳出 81億4296万円
歳入歳出差引残額 6億3596万円

本会議 1日目の8月22日、町長より令和4年度の一般会計及び8特別会計等の歳入歳出決算が一括上程され、代表監査委員の決算報告が行われました。一般会計の決算額は、歳入57億4458万円に対し、歳出52億7681万円で、差引額は4億6777万円となり、特別委員会に付託されました。一方、8特別会計等の決算総額は、歳入30億3433万円に対し、歳出28億6615万円で、差引額は1億6818万円となりました。

8月23日・24日には、議員10名と議長（オブザーバー）による一般会計決算審査特別委員会を開催し、町長・副町長・教育長以下、参事・課長から係長職の職員が出席して、詳細に審査を行いました。

ここでは、本会議及び一般会計決算審査特別委員会の主な審査概要をご紹介します。

令和5年 第3回定例会

会期 8月22日(火)~24日(木)

- 8/22 一般質問
井上議員・田代議員(P11)
議案審議
議案9件(条例工事請負契約・補正予算)、認定9件(決算)
- 8/23 議案審議等
認定1件(決算)
委員会審査
特別委員会1件(決算)
- 8/24 委員会審査
特別委員会1件(決算)
議案審議等
委員会報告1件(決算)、認定8件(決算)、報告ほか

政 策

質 一国民健康保険診療所特別会計は、財政調整基金から繰入れをしなければ赤字なので、診療収入を増加させる方策を検討されたい。」と監査委員から指摘されているので、詳しい説明を。

答 (町民課)

昔は現在と同様に赤字経営が続いていたが、途中から黒字となり、基金を積み立てることができた。

現在の医師の専門分野

を町広報やHPで町内外に宣伝して、診療者数を増とする考えである。

質 今後、大規模な事業を控えている。4年度決算が確定したので、公債費の償還見込みや公債費比率を知りたい。教育費は100万円以上の不用額が多いので、その理由を一覧表にして、決算特別委員会で提出を。

答 (政策推進課・教育課)

公債費に関する資料は、3月議会です予算審査をする際の資料として提出している。決算ベースで至急一覧表を作成するのは難しい。教育費の不用額については、決算特別委員会で配付させていただく。

質 小児医療費の助成や各種子育て支援事業を行うって、勤労世帯を増やすこととしている。しかし、令和5年3月までの2年間で、人口は243人減少している。その理由は。

人口減少が進んでいる。転出する方は、仕事場に近い東の方に移っている。また、松田町は近隣町と比べ宅地分譲が少ないこともある。

地域の医療を担っている町国民健康保険診療所



歳 入

答 (定住少子化担当室)

自然減と社会減により、人口減少が進んでいる。創生推進拠点施設整備事業負担割で、指定管理者と協議の上、月額59万円ほどの負担金を頂いており、総額が708万円となっている。施設の稼働率も、高く推進している。

答 (定住少子化担当室)

創生推進拠点施設整備事業負担割で、指定管理者と協議の上、月額59万円ほどの負担金を頂いており、総額が708万円となっている。施設の稼働率も、高く推進している。

質 創生推進拠点施設事業負担金が708万円とある。何社から得られたのか。現時点の推移はどうなっているのか。

委員普及啓発広報活動負担金で50万円上がっている。これはどのような活動をされているのか。

質 MEIBYO(未病)サミット神奈川実行委員会普及啓発広報活動負担金で50万円上がっている。これはどのような活動をされているのか。

委員普及啓発広報活動負担金で50万円上がっている。これはどのような活動をされているのか。



購入した非常食と救急ボックス

【答】（政策推進課）

町では桜まつりの時に入園券に未病の関係の普及啓発のメッセージを添えることで、それに対してかかった経費の3分の1、上限50万円という形で実行委員会のほうから頂いている。

【質】 地域コミュニティ活動交付金はどんなものに

使われているのか。

すべての自治会でふれあい会はやっているのか。

【答】（総務課）

コミュニティ交付金は26の自治会で活用している。

ふれあい会は地域福祉の観点から各自治会の自主的な運営に基づく活動である。

防災・定住・財産

【質】 防災資機材等整備事業で260万円と載っているが、どのようなものを購入されたのか。また非常食はどのようなものを備えているのか。

【答】（安全防災担当室）

非常食と飲料水の購入が主な部分である。その他に防災ヘルメット、AED、医薬品等を購入している。

【質】 町非常備消防団は129名で前年度比8名減っているが、消防団員を補充する必要があるかと思うが。

【答】（安全防災担当室）

5年度は126名となり、少しずつ減っている。募集の改善は、消防団に頼るのみならず、町の広報、広く様々な手段を使って消防団員を募集する。

【質】 ふるさと納税の管理経費4892万円が前年比で若干減っている。ふるさと納税の状況、ふるさと納税の対象品と返礼品等はどうのように推移しているのか。

【答】（定住少子化担当室）

寄附金に応じて返礼品をお渡しするので、寄附金の総額自体が減少し、この管理経費も同様となっている。返礼品はお肉が好調であり、また、ゴルフ場に設置したふるさと納税対応型自販機によるふるさと納税も伸びている。

【質】 公有財産家屋購入費594万円が支出され町屋の家屋分と説明されたが、どついう意味か詳細の説明を求める。

【答】（政策推進課）

住宅整備事業建設経費

まちづくり・産業

【質】 松田庶子線（酒匂川左岸道路）道路設計委託料850万円の内容は。

【答】（まちづくり課）

将来交通量の推計や、酒匂川左岸道路にある橋の耐荷重の照査を実施した。さらに、新十文字橋下を通る町道2-1号線の拡幅検討など大きく3点の照査や検討を実施している。

【質】 新松田駅周辺整備事業の中の設計委託料について、3千数百万円の予算を認めただけだから、少なくともこの決算の前にある程度説明があつて

というところで、当初PF1で行った町屋住宅と籠場住宅は建設費の一部を民間の資金を活用して行った事業である。その率により毎年工事費の割賦分を経費として支払っている。

【答】（まちづくり課）

国の補助率が不安定な傾向にあり、物価や資材高騰を含めて将来的に費用の増加も想定されるため、今後、検討の必要性がある。今まで示した数字と変わった内容については、事業の進捗に合わせて然るべきタイミングでお示すると共に、基金の方も考えていく。

然るべきだと思つた。町の見解は。

【答】（副町長）

この事業はどちらかというと再開発事業の支援が主なところである。途中経過は確認しているが、皆さんにお見せできる資料として整った段階でこの説明させていただきたいと思つている。

【質】 新松田駅整備事業の基金として9千万円を計上して積立総額が1億8千万円となった。基金の積立額を現実的な目標額に対応するための考えは。

桜まつりにおける来町者に販売できるものが少ないことから商品の数を増やすため、平成22年から始まり、最初は寄の養魚組合で行われているさくらマスなどを支援した補助金制度だが時代の変化も踏まえ見直す方向である。

福祉・民生

【質】 社会福祉総務費に、価格高騰緊急支援給付金があるが、この夏は、猛暑日が続いている中で電気料が高騰している。今後エアコン設置助成の考えは。

【答】 (福祉課)

この支援金については国の給付金事業であり、1089件の非課税世帯に対し1009件に5万円が支給された。エアコン設置補助については来年度予算等で検討する。

【質】 出産サポートタクシー利用助成金が当初予算より多くなっているが、利用件数が増えたのか。

【答】 (子育て健康課)

現在7社のタクシー会社に協力して頂き、実施している。4年度は13人が利用し、利用回数は80件と増えた。また、利用病院が秦野、伊勢原方面もあるため利用金額も増加した。



教育・その他

【質】 不用額が1千万円を超える部分は、監査委員の指摘にも有ります様に他の行政サービスに回す事が適当でないか。

【答】 (教育課)

執行状況により大切な税金である事を肝に銘じて、必要に応じて予算の

減額をするなどして、対応する。

【質】 タブレット端末の買い替えは5年といわれている。一部の学年のタブレットはすでに8年位たっているが、今後のタブレット端末の導入に対す

る考えは。

【答】 (教育課)

早い時期から小・中学校に1人1台のタブレットの配備をしている。少し老朽化してきているので、事業に遅れが無い様に順次計画的に進めていく。



タブレットを使った授業風景

【質】 南足柄出身の宮澤ひなたさんの様にプロが生まれた背景には、フットサルやサッカーコート設備にお金をかけている。この様にすることでスパーキッズが生まれる。当町も施設にお金を掛けたほうが良いと思うが。

【答】 (環境上下水道課)

充電器については、急速充電器ではないことと使用メーターが付いていないため、一般利用については今後普及促進に向けて研究を進めていく。

【答】 (教育課)

今ある資源を生かしながら、そこを整備して、しっかりとやっていく。

【質】 現在寄地区では寄出張所、七つ星ドッグランにEVの充電器が設置されている。災害時の利用がメインということだが一般の人の利用はどのようになっているのか。

一般会計決算審査特別委員会報告書（抜粋）

審査の結果

採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

審査の内容

歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がなされたかを中心に審査を行いました。

なお、次のことについて留意されたい。

- (1) 各種設計委託業務等成果品の概要説明は、適切な時期に行われたい。
- (2) 土地開発基金で購入した公共用地の買戻しが適切に行われていないので、計画的に執行されたい。
- (3) 監査員の指摘事項にある教育費の不用額について詳細な説明を受けた。今後の予算執行において適切な対応をされたい。また、特産品開発事業補助金については、制度の見直しをされたい。
- (4) 財政調整基金は14億を超える現在高となったが、今後の新松田駅周辺整備事業の進展や広域における整備事業の町負担額の増加を見据えた今後の財政運営を図られたい。

議案第1号 令和4年度松田町一般会計 歳入歳出決算の認定について【討論】

反対討論

寺嶋 正 議員

令和4年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の立場から討論を行います。歳入決算額は前年度対比19.7%減の57億4458万円、歳出決算額は前年度対比20.4%減の52億7681万円で、歳入歳出差引き4億6777万円の剰余金が生じ、継続費通次繰越の「町道19号線町屋踏切改良事業」、繰越明許費の「戸籍電算システム改修事業」ほか3事業及び事故繰越の「松田中学校施設整備事業（校舎改修設計委託料）」に係る翌年度へ繰り越すべき財源8266万円を除いた実質収支額は3億8510万円となりました。

歳入では、自主財源の主たる町税は15億4347万円となり、依存財源の地方交付税は13億448万円、国庫支出金は8億4452万円、町債3億8040万円となりました。歳出では人件費、扶助費、公債費を含めた義務的経費は21億6189万円となっており、令和4年度末の地方債現在高は55億5858万円となりました。

普通建設事業では、松田小学校整備事業、ジビエ処理加工施設建設事業、消防団第6分団消防車両の購入など実施しています。今後、新松田駅周辺整備事業が予定されており、扶助費や公債費の増加等で厳しい財政運営が予測されます。町民の暮らし、福祉の拡充に向けて財源確保を図り、町有地や空き地の有効活用など検討することです。

決算の評価として、新型コロナウイルス感染症対策事業や小児医療費助成を高校卒業まで拡充されたことは理解できますが、事業の未執行や不用額が多く見受けられるので十分精査して適正な予算措置をすること。町の正規職員は定員119名に対し111名となっており増やすこと。新松田駅南口駅前広場整備事業が滞っており引き続き尽力すること。町消防団員は、129人で前年度から8人減っており、町民の生命と財産を守る立場から消防団員を増やすことなど申し上げて決算の反対討論とします。



新しくなった第6分団消防車両

賛成討論

平野 由里子 議員

令和4年度一般会計歳入歳出決算について、賛成の討論をさせていただきます。

本年度は総額31億円の大型公共事業であった松田小学校整備事業の最終年度として、子どもたちの声がかこだまする木造校舎の南側に水はけの良いグラウンドが整備されました。校舎と体育館の屋根には太陽光発電も設置され、二酸化炭素排出だけでなく高騰する電気料を抑制する効果もあり、また災害時の非常用電源として地域の安心にも役立つことでしょう。

新型コロナウイルス感染症が続く一方で、ウクライナなど国際情勢の不安定化もあり、物価が高騰する中で、国からの臨時交付金を活用し、様々な感染対策と支援策を適切なタイミングで実施してきたことも、今回の審査で改めて確認しました。

チルドレン・ファーストを掲げ、近隣に先駆けて小児医療費助成を高校生まで拡充し、第2子の保育料を無償化しました。また「まつだ子どもカフェ」として対面だけでなくZoom参加も交えて、まちづくりに対する小学生～大学生までの声を聞く取り組みも始まりました。

歳入総額57億4460万円、歳出総額52億7680万円で、翌年に繰り越すべき額を引いた実質収支額は3億8500万円。町の貯金、財政調整基金は約15億円と過去最高レベルとなっています。

投資的な事業も計画的に展開しつつ、福祉・教育など経常的な町民サービスも滞りなく実施されており、令和4年度の一般会計歳入歳出決算を認定すべきものといえます。



まつだ子どもカフェの様子

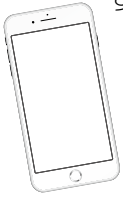
条例

▼松田町税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律（令和5年法律第2号）の施行に伴い、固定資産税額の特例、軽自動車税（グリーン化特例の延長等）について、一部改正をします。

▼松田町印鑑条例の一部を改正する条例

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律（平成14年法律第153号）の一部改正に伴い、個人番号カードに加え、利用者証明用電子証明書を搭載したスマートフォンを使用して、コンビニエンスストア等に設置された多機能端末から印鑑登録証明書を取得できるように、一部改正をします。



▼松田町水道事業給水条例等の一部を改正する条例

消費税法の改正による適格請求書等保存方式（インボイス方式）の導入に伴い、水道事業、寄簡水道事業及び下水道事業の使用料算定方式を改める必要があるため、一部改正をします。本定例会において、追加議案として8月22日に上程されました。

契約

▼工事請負契約の締結について（令和5年度松田町立松田小学校太陽光発電設備整備工事）

令和5年8月14日に6403万1千円で仮契約を締結した工事契約を本契約とするため議会の議決を得るものです。
12者の指名競争入札により、横浜ユアサ産業電池株式会社が落札しました。

補正予算

▼令和5年度松田町一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ2億7100万8千円を追加し、予算総額を55億8917万1千円とするものです。

主な内容は、歳入が地方交付税、まち・ひと・しごと創生寄附金、前年度繰越金など、歳出は地域医療介護総合確保基金

補助金、新松田駅周辺整備基金積立金、教育施設整備基金積立金、スポーツ・リズム推進委託料などを補正するものです。

▼令和5年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ409万9千円を追加し、予算総額を5166万2千円とするものです。

主な内容は、歳入が、前年度繰越金、新型コロナウイルス感染症対策に活用した感染症対策物品購入に伴う備品購入費を補正するものです。

電気設備等の改修工事を行う宮下水源



するものです。

▼令和5年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ4193万5千円を追加し、予算総額を11億9657万4千円とするものです。

主な内容は、歳入が前年度繰越金、歳出は保険給付費の財源補正、介護給付費負担金過年度分返還金などを補正するものです。

審議の結果

採決の結果は、10ページをご覧ください。



今年度東棟・西棟に太陽光発電設備を設置する松田小学校

▼令和5年度松田町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

主な内容は、前年度繰越金の確定に伴い、補正

産業厚生常任委員会報告

本委員会では、継続審査とした「更なる子育て支援の充実」について、調査研究の結果を今定例会で報告しました。

産業厚生常任委員会所管事務調査報告書（抜粋）

現代社会において、少子化の進行、核家族世帯や共働き世帯、ひとり親世帯の増加など、子どもを取り巻く環境は多様化・複雑化していて、様々な子育て支援策の対応が求められています。そのような状況の中、本町が取り組む子育て支援がさらに進められるように調査研究することとしました。

本町の子育て支援は、18歳までの小児医療費助成（所得制限なし）、産後ケア・産後家事支援費用の助成、一般不妊治療費・不育治療費の助成（年齢制限・所得制限なし）など、かなり手厚いことが確認できました。これらの子育て支援情報を町内外にしっかり発信していくことが大事ではないかと結論しました。

そして、調査研究を通して、本委員会として次の事を提言します。

- (1) 子育て支援について分かり易くするため「子育て支援ガイドブック」を作成
- (2) チルドレンファーストの町として、「子どもの権利条約」を条例化
- (3) おむつ替えや授乳の場を提供する「赤ちゃんの駅」の設置
- (4) 県立足柄上病院小児科の初診料の補助

議会改革推進委員会報告

本委員会では、議会ICT化に向けたタブレット端末の導入に関する委員会報告書を取りまとめて、今定例会で報告しました。

議会ICT化に向けたタブレット端末の導入に関する委員会報告書（抜粋）

1 経過

- (1) 先進導入された寒川町議会の視察（令和4年7月）
- (2) 先進導入された湯河原町議会の視察（令和4年10月）
- (3) 議会全員協議会への機種決定等の報告・協議（令和5年6月）
- (4) 議会全員協議会への検討等の中間報告（令和5年7月）
- (5) 最終報告に向けたまとめ（令和5年8月）

2 タブレット端末の導入検討の目的

- (1) ICTシステム（端末・アプリケーション）を導入し、その利便性を生かして「議会機能の強化」を推進する。資料の電子データ化により情報共有をより円滑に推進するとともに、資料を蓄積し議案資料等の検索や比較等により今後の議会活動をより有効に活用を図っていく。

3 目的別の論点整理

タブレット端末の導入による「議会機能の強化」

4 タブレット端末の活用とシステムや機能の想定

- (1) 議案審議への活用、(2) 議員活動への活用、(3) 町民への迅速・的確な情報提供
- (4) 委員会活動への活用、(5) 迅速な情報伝達、(6) 議会スケジュールの共有
- (7) 議会情報の共有 ほか

5 個別の検討課題

- (1) インターネットへの接続環境、(2) タブレット端末のシステム導入費用及び運用経費
- (3) セキュリティや管理体制、(4) 私的目的での使用禁止についての検討
- (5) 他町議会の先行事例やタブレット導入に向けた研究状況の調査

6 導入に向けたスケジュール

運用開始時期は、令和5年9月の議会議員選挙による改選後に導入し、10月以降初期設定操作研修を実施後、運用開始していく。

議案審議結果一覧

第3回定例会

○…賛成 ●…反対 可…可決 否…否決 認…認定 欠…欠席

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	唐澤	古谷	内田	平野	田代	井上	南雲	中野	齋藤	寺嶋	大館
				一代	星人	晃	由里子	実	栄一	まさ子	博	永	正	秀孝
議案30	松田町税条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	松田町印鑑条例の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	工事請負契約の締結について(令和5年度松田町立松田小学校太陽光発電設備整備工事)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	令和5年度松田町一般会計補正予算(第3号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	令和5年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	令和5年度松田町上水道事業会計補正予算(第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	令和5年度松田町下水道事業特別会計補正予算(第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	令和5年度松田町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	松田町水道事業給水条例等の一部を改正する条例		可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定 1	令和4年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について(一般会計決算審査特別委員会報告)		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
2	令和4年度松田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
3	令和4年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
4	令和4年度松田町上水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	利益の処分	可	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
		決算の認定	認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
5	令和4年度松田町寄簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
6	令和4年度松田町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	令和4年度松田町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	令和4年度松田町用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	令和4年度松田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		認	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 飯田一議長は採決には加わらない。

一般質問

ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。町では、一般質問の録画映像をYouTubeにて公開しています。

スマートフォン等をご利用の方は、各議員のQRコードを読み取りご覧ください。パソコン等から視聴される方は「**松田町議会 YouTube**」と検索していただくと、ご覧いただけます。

新松田駅周辺整備事業の町民説明について



質問者
井上 栄一 議員



(1) 6月27日に実施しました新松田自治会と議会との意見交換会において、参加者から「新松田駅周辺整備事業について地権者等検討会に対しては様々な説明を行っているが地元や近隣に対して町は説明会等を実施してない」という意見が出ました。

町は地元自治会や近隣住民また町民全体に対し町政史上最大の事業である新松田駅周辺整備事業を説明し理解を得なければなりません。いつこれらの説明会を実施されるのか伺います。

町民の方々が興味を示していること、町民の方々が知りたい情報は承知しているため、必要なタイミングで話をしていきます。



新松田自治会との意見交換会

A
駅周辺整備の地元説明会は、来年3月に開催
回答 (町長)



(1) 都市計画決定の手続きを令和6年度に行う目標を掲げているので、来年3月に、新松田駅周辺整備事業（再開発事業、駅前広場、自由通路など）について、準備組合から了解をいただいた内容について、順次必要に応じて話をします。

町民の方々が興味を示していること、町民の方々が知りたい情報は承知しているため、必要なタイミングで話をしていきます。

「じゃりせん橋」東側の遊歩道整備を!



質問者
田代 実 議員



令和2年2月、常光沢に整備された人道橋「じゃりせん橋」は、日本鉄道建設公団から購入した旧砂利線引込線路敷地につながりました。特に、小学生や通勤者は交通量が多い町道1号線を避けて、安心して歩ける「じゃりせん橋」から東側の遊歩道（旧砂利線引込線）300m程を利用しています。また、散策路として利用されている方も多いようです。

しかしながら、雨天時は未舗装のため路面がぬかっけしまい利用者は少なくなっているため、簡易舗装をすることや子どもたちを始めとする利用者の安心・安全のために防犯カメラを整備して欲しいという声も届いてい

ます。このことについて、町長のお考えを伺います。

A
地元自治会の意見を聞き、総合的に検討する
回答 (町長)



簡易舗装工事の概算額は、アスファルトで60万円、コンクリートは



旧砂利線引込線と町道1号線



じゃりせん橋東側

1200万円程かかる。過去に町道として車輛が走行できる道路の計画もあったが、工費が莫大にかかることや受益面積が少ないことから、費用対効果の面で見送られた経緯がある。

旧砂利線引込線は、庶子地域にとって大切な土地であることから、今後の利活用について、簡易舗装工事も含め、地元自治会の方々から意見を聞き、総合的に検討していきたい。

防犯カメラは、1台あたり30万円〜50万円かかる。現時点で、城山自治会を含め4台程の設置要望が出ているので、優先度の高い場所から、予算の範囲で対応していく。



森林は水の恵みの源です

ふるたち のぶ お
神奈川県森林インストラクター 古館 信生さん(湯の沢在住)

【やどりき水源林をご存じですか？】

松田町寄の奥に「やどりき水源林」という県の水源環境保全林があるのをご存じですか？

バスの寄終点から中津川沿いに歩いて行きますと赤い寄大橋があり、ゲートに突き当たりますが、その中が「やどりき水源林」です。脇から誰でも中に入ることが出来ます。

【森林インストラクターになりました】

私は湯の沢に住んでいますが、10数年前に「やどりき水源林」を訪れ「森林インストラクター」の人に案内して頂き、豊かな森林と川のせせらぎにすっかり魅せられて、自分も「森林インストラクター」になりたいと思うようになりました。そこで、県の「神奈川県森林インストラクター養成講座」に応募し、1年半の講習を受け、2013年11月に神奈川県知事から「神奈川県森林インストラクター」の認証を頂きました。その後、「NPO法人かながわ森林インストラクターの会」に入会し、この会を通じて森林ボランティア活動に参加してきました。森林インストラクターの活動は多岐にわたりますが、私は「やどりき事



やどりき水源林前でお客様をお待ちしています

業部」に属し、自宅からも近い「やどりき水源林」で主に活動を行っています。

【やどりき水源林での活動】

「やどりき事業部」が定期的に行っている活動は「やどりき水源林」の「森の案内人」を務めることです。冬を除いた3月から11月までの土曜日に、当番でやどりき水源林に滞在して、10時と13時に、水源林を散策したい方に無料でご案内しています。3月、6月、9月に独自のイベントがありますが、庄巻は8月に行う「やどりき水源林のつどい」です。横浜、川崎などの大都会から400人以上の親子連れが集まり、トレッキング、水生生物観察、クラフトなどを楽しんでもらいます。今年

は8月5日に開催され、松田町長のご挨拶のほか、やどりき祭囃子の演奏、寄農家の野菜販売、鹿シチューのおもてなしなど大変好評でした。10月には寄小学校5年生に「やどりき水源林」内で環境教育も行っています。

都会の方だけでなく、松田町に住んでいる方も是非「やどりき水源林」にお出でください。

是非「やどりき水源林」にお出でください。

町議会広報広聴常任委員会では、
「住みやすい町を目指して」
活動されている方や団体で、このコーナーに掲載して下さる方を募集しています。
希望される方は下記までご連絡ください。

**第4回定例会は
12月5日(火)開会予定
ぜひ、傍聴にお越しください。
発熱等症状がおありの方は、ご遠慮ください。**

- | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|------|-----|-------------|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議会広報広聴常任委員会 |
| 北村和士 | 中津川定雄 | 秋田谷光彦 | 平野由里子 | 武尾哲治 | 吉田功 | (吉田) |

さて、議会広報広聴常任委員会も新メンバーとなりました。これまでも開かれた議会を目指して改革を進めてまいりましたが、議会がみなさまにより近い存在となるように努めてまいります。

記録的な猛暑が続いた夏もおさまり、過ごしやす季節が訪れました。現代は「多様性」を認める社会であることが求められています。それは異なる意見に耳を傾けることであり、松田町議会も「多様性」に基づく討議を進めることを確認しました。

